



徳岡 晃一郎 教授  
大学院

イノベーションの生みの親。成果主義に替わる新しい人事制度(MBB:思いのマネジメント)とリーダーのあり方を提唱。活力ある知的組織を創る知恵を広めています。



出原 至道 教授  
経営情報学部 経営情報学科

VR魚すくい、プラネタリウム、体感ゲームなど、情報技術による体感型展示の実績が国内外で多数あります。

## 多摩大学の一部教員をご紹介します



石川 晴子 准教授  
経営情報学部 事業構想学科

近隣小学校の放課後子ども教室での活動(「英語であそぼう!」)では、学生たちの子どもたちの安全管理への責任感と地域貢献への意識を高めています。



韓 準祐 准教授  
グローバルスタディーズ学部

観光まちづくりを専門分野としており、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町を含む湘南地域の観光振興をサポートする活動を行っています。



松本 祐一 教授  
経営情報学部 事業構想学科/総合研究所

人口減少が続く奥多摩町で、ビジネスの力で若者が住みたくなる町にすることを目指して超実践的な事業開発ゼミを展開しています。

## 多摩大流! 産官学民連携の流れ

step 0 メールや電話で気軽に  
お問い合わせください

実務経験豊かなコーディネーターが対応します。  
どんな内容でも承ります。

コーディネーターは地域を巡回し、  
新しい種を探しています。

step 1 担当教職員と「雑談会」

まずはゆるやかに、地域や社会の課題についての  
雑談会を実施します。

- ・地方創生
- ・ICT
- ・アンケート調査から計画づくり
- ・まちづくり
- ・マーケティング
- ・補助金の獲得
- ・スポーツ
- ・国際
- ・学生ボランティア
- ・商品開発
- ・観光
- ・求人に関すること…など

step 2 マッチング

研究者はもちろん、自治体や企業などとのネットワークを活用して適切な連携スタイルを模索します。

step 3 A. 契約手続き

テーマ・内容・スケジュール・経費・役割分担などを  
協議の上、必要に応じて契約を行います。  
※適宜秘密保持契約(NDA)を締結します。

step 3 B. 連携先の紹介

連携プロジェクトの実施

step 4 実践研究の実施

連携契約に基づき事業を実施します。

step 5 評価

報告書やレポートをまとめます。効果測定を行い  
さらなる進展へ向け進みます。



お問い合わせ先  
多摩大学産官学民連携センター 担当: 矢内・安藤 〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1  
TEL 042-337-7583 (月曜日~金曜日 9:00~17:00)  
<https://www.tama.ac.jp/cooperation/>



2022

Activities Examples

## 多摩大学産官学民連携

課題解決に  
寄与する人材

交流を  
生み出す  
大学



# 2021年度 産官学民連携事例

## 多摩大学の連携事業

- ・社会問題の分析や解決提案、教育手法の開発
- ・企業や地方自治体との課題解決型共同研究・受託研究

- ・地域コミュニティや団体など多様な組織とのネットワークを形成
- ・魅力あるまちづくりのためのプロジェクト創出

など

### 次世代事業開発人材育成プログラム



次世代の事業を開発できる人材像を検討し、人材育成のための教育プログラムを開発しました。企業、大学、金融機関、企業経営アドバイザーによるコミュニティ形成とネットワークの構築を目的としています。

### 八王子市イノベーションプラン共同研究



八王子市における2040年度を見据えた新たな産業振興施策の指針となる「八王子市産業イノベーションプラン」策定にあたり、共同研究として産業振興の方向性と施策について検討しました。

### 中小企業のインターンシップ研究



優れた技術や経営手腕を評価された地域の中小企業とともに、中小企業の共通課題を議論する経営研究交流会を定期開催。2020年度は「インターンシップ」をテーマに具体的な方策について検討しました。

### ブドウ栽培とワイン造り



IT、コンサルティング、ワイナリー事業などを行う(株)ショーンンと連携協定を締結し、地元農家の協力のもと、湘南産ワイン用ブドウ「メイヴ」の栽培を開始。ワイナリープロジェクトを推進中です。

### ONSEN・ガストロノミーウォーキングの企画運営



学生、教員が関わり、スタンプラリー・クイズの企画や制作物作成、当日運営などを行いました。

### 公開講座

#### 寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座



寺島実郎学長監修による、各界の碩学を講師として招いた年間24回のリレー形式の講座。2008年より各回、一般市民400名、学生200名ほどが受講し、14年間の参加者数はのべ19万人を超えています。



#### T-Studio 公開講座

地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するために、本学の特性を生かした公開講座を2015年より開催しています。受講者の“知的好奇心”にお応えし、皆様との繋がりを強くすることを目指しています。

### 多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト



継続性のある地域活性化と地元の魅力再発見を目的とした、都内初の産官学民連携観光プロジェクト。郊外都市の課題解決を踏まえたマイクロツーリズムのアイデア企画を公募し、連携による実現化を目指します。

### 放課後教室「英語であそぼう！」



子どもたちの安全、安心な「勉強の場」「遊びの場」を提供する放課後子ども教室で、ゲームや遊びを中心とした英語活動を年間約15回、3年生から6年生を対象に行っています。

### 寒川町観光協会のHPを多言語化



コロナ禍でオンラインでの情報発信の充実が求められスタートした寒川町観光協会HP多言語化プロジェクト。32名の学生が寒川町の53か所の観光スポットを英語、中国語、韓国語に翻訳しました。

### 藤沢JC杯小・中学生サッカー大会参画



2018年度より学生が実行委員会に加わり、大会の企画・運営に関わっています。

### 近隣小学校のICT授業支援の実施



GIGAスクール構想による小中学校における1人1台端末環境下での学びがスタートし、学生ボランティアが近隣小学校の授業（ICT）支援を行いました。同活動は、令和3年度東京都地域学校協働活動推進フォーラムで事例紹介されました。

### 研究セミナー

#### 学内業界研究セミナー



30社の企業をお招きし、約300名の学生（3年生）に向け各企業にPRと業界説明を行っていただきました。企業の方々から本学の学生を知っていただく機会として、また学生の企業研究を目的とし開催したセミナーです。

### 世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト



地域と協働して高齢者サロンの企画・運営を行っているプロジェクト。コロナ禍でオンライン化を進めるなど展開しています。※大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業（2016年～現在）。

### オリジナルシリアスゲーム「と老人」



東京都立大学の齋藤伸教授との共同研究で開発した社会課題解決ゲームが、多摩市と多摩市社会福祉協議会の職員研修に採用されました。ゲームを通して豊かなまちづくりに対する意識を高めました。

### 飛騨高山地域の地域産業・観光研究



飛騨高山の地域課題の解決に向けて、地域資源を用いた商品開発、スキー場の活性化、SNS映えするオブジェ制作、地元の中学生との交流、地元中小企業を対象としたSDGsに関する調査など、様々な提案を行ってきました。

### ビーチクリーンアップin由ヶ谷浜



ICERC Japan（国際イルカ・クジラ教育リサーチセンター）代表の相良様の協力のもと、「学生社会ボランティアコーナー」主催のボランティア活動を行いました。



### 奥多摩活性化事業開発プロジェクト



2016年より「みんなでつくる奥多摩」をコンセプトに事業開発を通じて地域課題解決を行い、若者が住みたくなる仕組み作りをテーマに調査・提案（土産開発、拠点づくり、イベント企画等）を進めています。

### ロボットイベントでアンケート調査



2日間で約2,500名が来場したロボット展示会場にてアンケートを実施。408名の来場者アンケートを回収し、参加企業（15団体）へのフィードバックとまちづくりの意識調査を行いました。

### 企業との共同開発プログラムの展開



講義プログラムを企業と共同開発し、ビジネスパーソンに必須の「実践的教養講座＝リカレント教育」や「実践知講座」を、ワークショップ形式にて多数開講しています。

### ボランティア通信紙面制作



多摩ボランティア・市民活動支援センター発行の機関紙で、多摩エリアにちなんだ企画を構成しています。

### SDGsマルシェへの参画



第1回SDGsマルシェin湘南藤沢の企画・運営、情報発信、クラウドファンディング、ワークショップなどを担当しました。

### 外国人観光客実態調査



2020年度に続きオンラインアンケート調査を実施。4名の学生および教職員が設問を作成し翻訳しました。

### 藤沢市・昆明市友好都市40周年記念事業の企画・実施



オンラインで学生同士が互いの地域や文化の紹介、パフォーマンス披露などを通して交流しました。

